

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

|           |                                |         |            |
|-----------|--------------------------------|---------|------------|
| 事業者名      | グループホームつつじ                     | 評価実施年月日 | 平成20年1月31日 |
| 評価実施構成員氏名 | 小倉 民子 三条 三千代 向 亜弓 峯 かおり 館岡 佳代子 |         |            |
| 記録者氏名     | 小倉 民子                          | 記録年月日   | 平成20年3月1日  |

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

は外部評価項目

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                |
|---|---|-----------------------|--|
| I. 理念に基づく運営   |   |                       |  |
| 1. 理念の共有  |   |                       |  |
| <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念<br>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。            | 独自の理念があります  |                       | 今後も理念を基にサービスを提供していきたいと思います                     |
| <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み<br>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。                              | 社内研修で再確認し共有し取り組んでいます                                      |                       | 理念がすぐ確認できる場所に貼り、実践している                         |
| <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透<br>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。     | 見やすいところに掲示しており、入居の際にも説明している                               |                       | 推進委員会で町内会、民生委員の方、家族への日々の暮らしや取り組みについて意見交換をしています |
| 2. 地域との支えあい   |   |                       |  |
| <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい<br>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。      | 散歩時や通勤時に近所の方に御挨拶をしています。近隣の施設の方々も庭でお茶をたのしんでくれています          |                       | お互いの行事に参加する機会を継続し関係を深めています                     |
| <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい<br>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。        | 地域の施設、小学校の催しに参加させてもらっている。小学校の運動会では利用者が参加できるプログラムを作ってくれました |                       | 推進委員会で町内会、民生委員の方、家族への日々の暮らしや取り組みについて意見交換をしています |
| <input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献<br>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 隣接している施設の花植えに毎年行き入所の方と一緒に時間をすごしています                       |                       | お互いの行事に参加する機会を継続し関係を深めていきたい                    |

| 項目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|-----------------------|--------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |   |                       |                                |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>評価後足りない部分を補うようにしている</p>                                |                       | 不足部分があれば補い、より良いホームにしていきたい      |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回開催し地域の方や家族と話し合う機会を作っている</p>      |                       | 意見交換の中からサービス向上へ活かせるようにしている     |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>満足とはいかないと思われる</p>  |                       | 機会を作りたいと思っています                 |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修で学んでいる</p>                   |                       | 機会があれば学び活かしたい                  |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内、社外研修で学ぶ機会を作っている。職員が熟知できるように努めている</p> |                       | 定期的に学ぶ時間があり継続していく              |
| 4. 理念を実践するための体制       |   |                       |                                |
| 12                    | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約前の説明を十分にし不安、質問について説明した上で契約をしている</p>                     |                       | 口頭で説明し書類を渡し、納得していただいている        |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)             |
|---|---|------------------------|---|
| 13<br>○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                 | 御意見は都度伺うようにし、日々の生活に活かしている   |                        | 職員と話すことはもちろん、ボランティアの方と話す機会も作っている            |
| 14<br>○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。                              | 面会時に健康状態や暮らしぶりについてお話しています。面会に来られない方には電話で報告したり2ヶ月に一度お便りを送っている        |                        | 今後も個々にあった対応をしていく                            |
| 15<br>○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                | 市や国保連などの外部機関の説明をした上で管理者及び職員にも窓口があることを伝えている。意見箱も設置しているが今まで御意見は頂いていない |                        | 御意見があれば運営に活かしていきたい。又、気軽に話していただけるようにつとめていきたい |
| 16<br>○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。  | 定期的に会議を開き意見交換の場を設けている   |                        | 直接介護をしている声を重視している                           |
| 17<br>○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。                       | 対応ができるようプラスの職員を確保するように心がけている  |                        | ヘルパー資格を持つ事務職員が対応していることもある                   |
| 18<br>○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 利用者の方に負担にならないように代わる職員と時間を重ねるようにしている                                 |                        | 安心できることや好みの場所など伝えたり、予め会う機会を作ったりしている         |

| 項目                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目)                   | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                  |
|---------------------------|--|---|--|
| 5. 人材の育成と支援               |  |   |  |
| 19                        | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>          | 定期的社内研修を設けたり、均等に社外の研修を受けられるようにしている      | 資格取得も勤め時間の配慮もしている。特に道内の他施設の見学を行いより良いホーム作りを目指している |
| 20                        | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | グループホーム協議会へ参加している                       | 交流の機会が多いとはいえないが、市内のホーム見学を始めたのをきっかけに交流を深めていきたい    |
| 21                        | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>                                   | 業務上の悩みはいつも話し合うようにしている。親睦を深めるような機会を作っている | 各フロアーのチーフ、管理者などであう機会を作り対話しやすい機会を作っている            |
| 22                        | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>                       | 勤務状況を把握し資格の取得、研修を勧めている                  | 研修後の伝達講習、社内研修の開催なども視野に入れている                      |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援     |  |   |  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |  |   |  |
| 23                        | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>            | 御本人から話を聞いている。御本人が見学し納得して頂くこともある         | 見学を勧めこれからの生活の場を見てもらっている。不安の内容を聞き具体的な生活援助を提案している  |
| 24                        | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>                 | 十分、話をしている                               | 御家族の協力を得ながら無理の無いように進めている。生活の場を電話や面会時に細やかに伝えている   |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                    | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                  |
|---|--|------------------------|--|
| 25<br>○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                              | 今、お困りのことは無いか聞くようにしている。すぐ対応するようにしている                |                        | 側にいる機会を多くするように心がけている。一人では無いことをお伝えしている          |
| 26<br>○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 見学の際、職員を紹介し入居のとき、少しでも馴染みになっているように配慮している            |                        | 食事の希望があれば応じる用意がある。催しに参加を勧めることもある               |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援   |  |                        |  |
| 27<br>○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                       | 今出来る事を一緒に行い、教えてもらうという姿勢で接している。人生の先輩として接するよう心がけています |                        | 調理方法、草花の名前、ことわざ等を聞き、関わりの中から自信の回復につなげている        |
| 28<br>○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。                                 | 御家族の方とともに日々の生活について共有し面会時や電話などで関係を深めています            |                        | 時間の許す限り外出、食事を家族と過ごしてもらったり、ホームの催しに招いたりと共に楽しんでいる |
| 29<br>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。                                     | 時間的距離を調整したり、家族と行事に出かける機会の連絡を仲介している                 |                        | 心身の状態から無理が無いように話あっている                          |
| 30<br>○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                                       | 入居の際、友人関係や交流関係を確認し継続できるようにしている                     |                        | 希望に合わせて支援していく                                  |

| 項目                             |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)        | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                      |
|--------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 31                             | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。   | 個々の生活や性格に配慮し仲間作りの援助をしている               |                        | 家事や余暇活動の際にきっかけをつくるようにしている                          |
| 32                             | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。                                    | 終了時も相談ごとに応じたいと伝えている                    |                        | お会いした際、声をかけている。さすつかえのない限り、近況を伺う事もある                |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント    |  |  |                        |  |
| 1. 一人ひとりの把握                    |  |  |                        |  |
| 33                             | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。  | 様子が違うようなときは特に側に行き気持ちを確認している            |                        | 職員間で話し合いよい方向へ行く努力をしている                             |
| 34                             | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。  | 本人、家族から出来るだけ情報を聞き状況を捉えている              |                        | 好みや習慣を損なわないようにしている                                 |
| 35                             | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。  | 共有する時間、個人の時間等をそれぞれ尊重している               |                        | 午前に活動、午後からは趣味に携わっていただけるように心がけ、変化があれば負担の無いように配慮している |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |  |  |                        |  |
| 36                             | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 御本人、御家族の意向をお聞きし状況や状態の変化にあった介護計画を作成している |                        | 御本人からは生活を共にしながら聞いている。反映することは基本と認識している              |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                   |
|--|-----------------------------------|-----------------------|---|
| 37<br>○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 職員間で話し合い介護支援専門員を交え現状に適した計画を作成している |                       | これからも現状に適したプランにそって生活支援をしていく                       |
| 38<br>○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。   | 日々の暮らしの様子を記録に残している。変化に合わせて見直している  |                       | 申し送りノートを活用し情報交換し実施している。具体的にどうすれば良いか取り組んでいる        |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援  |                                   |                       |   |
| 39<br>○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。   | 季節の行事の参加、申請書類の手続きなど協力を得ている        |                       | 夏祭りの実施、ボランティアの呼びかけ等の協力がある                         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働  |                                   |                       |   |
| 40<br>○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。  | 地域の民生委員、消防、学校などと交流がある             |                       | 推進委員会の参加、救急救命講習、学習発表会などもある。ボランティアの参加も多く茶道、歌会などもある |
| 41<br>○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。  | 他のケアマネや事業者と連絡をとっている               |                       | 入居の際の相談や、転居などで協力を得ている                             |
| 42<br>○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。  | 必要時に相談したいと思っている                   |                       | 機会があればお願いしてみる                                     |



| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)          | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)  |
|--|--|-----------------------|----------------------------------|
| 43<br>○かかりつけ医の受診支援<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。   | 職員に看護師がいて相談にのってくれる。また協力病院では細やかに対応してくれている |                       | ホームで対応する事、受診する事の判断も指示をもらうようにしている |
| 44<br>○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。  | 協力病院の医師に相談している                           |                       | 職員は医師からの指示を生活の中で支援している           |
| 45<br>○看護職との協働<br>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。  | 協力病院の看護師に相談している                          |                       | 健康状態を伝え、医師との橋渡しをしてくれている          |
| 46<br>○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。                      | 経過の状態を知らせてもらったり、実際に病院に行き確認している           |                       | 具体的に確認している                       |
| 47<br>○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。                                   | 話し合い、共有している                              |                       | 情報が入ると家族に確認し職員間で申し送っている          |
| 48<br>○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | かかりつけの医師の指示、家族の意向を尊重している                 |                       | その方にあつた方を支援している                  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)            | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                           |
|---|--|------------------------|---|
| <p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>本人、家族の意向を十分お聞きしている</p>                  |                        | <p>希望に合わせて対応していくようにしている。主治医に相談しながら行っている</p>             |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>  |  |                        |   |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p>  |  |                        |   |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p>  |  |                        |   |
| <p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>                                      | <p>先輩に対し尊敬の念を忘れないように心がけている</p>             |                        | <p>記録も話しかけるように書くよう伝えている</p>                             |
| <p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>                 | <p>自分で決定できるように問いかけ、わかりやすいように話している</p>      |                        | <p>どんなことも話してもらうよう声を掛けている。具体的に場所や人を変えて見るなど試みている</p>      |
| <p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>                       | <p>希望に合わせている。枠にとらわれないように心がけている</p>         |                        | <p>食事、入浴など個人のペースで家事についても一緒に関わりながら無理の無いようにすすめている</p>     |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>   |  |                        |   |
| <p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>                                  | <p>御自分で選んでもらっている。街の美容室に行く機会を設けている</p>      |                        | <p>季節や外気温に合っているか見守り、おしゃれのアドバイスを求められた時は一緒に楽しむようにしている</p> |
| <p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>                  | <p>好みを聞き取り入れるようにしている。出来る事を重視し参加をすすめている</p> |                        | <p>次回の献立や季節の行事に活かしている。行事食は教えてもらうことも多い</p>               |

| 項目                            |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)       | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                         |
|-------------------------------|--|---------------------------------------|------------------------|---|
| 55                            | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。           | 嗜好について希望に合うように配慮している                  |                        | 時間を決めて楽しんでもらう用意がある                                      |
| 56                            | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。       | 排泄のリズムを把握し定期的に誘導したり声をかけたりしている         |                        | 落ち着かない様子や時間に一緒にトイレまでいったりしている                            |
| 57                            | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。   | のんびり入浴を楽しんでもらえるように御自分のペースに合わせていただいている |                        | シャワーや掛け湯を利用し負担が少ないように体調に合わせている。入る時はご本人に確認をしてから入るようにしている |
| 58                            | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。                    | 個々の生活のリズムを知り、大切にしている                  |                        | 夜にリビングで過ごされる方、自室で本を読まれる方など、好みに合わせている                    |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |  |                                       |                        |   |
| 59                            | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 日々の生活の中で個性に合った楽しみを提供したり家事の取り組みを心がけている |                        | 家事の得意な方、人に物を教えていた方など過去の生活も重視しながら支援している                  |
| 60                            | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 本人の御希望により持っている方もいる                    |                        | どこに置いたか忘れてしまうことがある。希望を聞き、家族と相談しながら対応している                |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)     | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                           |
|--|-------------------------------------|------------------------|---|
| 61<br>○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                           | ご本人の希望に沿った外出の機会をもっているが、全ての方とは至っていない |                        | 近隣への散歩、庭の散策などにお誘いしている。また、状態に合わせ片道に車椅子を使うなど負担を少なくするようにしている |
| 62<br>○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。        | 季節の景観を楽しむ事も取り入れている                  |                        | 春の花見、秋の紅葉狩り、学校行事の参加、近隣ホテルの収穫祭などへ行き、交流を図りながら季節を楽しんでいる      |
| 63<br>○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。                                  | 希望により家族や友人と交流がある                    |                        | 希望に合わせて電話で話したり、来訪があったり、外出をしたりしている                         |
| 64<br>○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | 入居の際に聞き、可能な限り面会をしてもらっている            |                        | ホームの催しに御招待し一緒に楽しんでもらっている                                  |
| (4)安心と安全を支える支援   |                                     |                        |   |
| 65<br>○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 人としてどうあるべきかを日頃から話し、大切さを確認している       |                        | 社外研修に参加、社内研修においても学んでいる                                    |
| 66<br>○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                  | 日中、鍵はかけていない                         |                        | 夜、遅番が退社後に掛けている  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)            | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                                |
|---|--|------------------------|--|
| 67<br>○利用者の安全確認<br>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                | 安全を第一と考え、失礼の無いように配慮している                    |                        | 先輩、目上の方に話すようにと教えてもらうという姿勢で接している                                |
| 68<br>○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。        | 洗剤、火器、刃物、薬は管理している。状況に合わせてお渡ししている           |                        | 爪切り、服薬など側で見守り出来る限り本人の持っている力を維持して頂くようにしている。包丁も使い一緒に調理に参加することもある |
| 69<br>○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。      | 転倒、喉つまりなど、全体的に注意している。社内研修などで学んでいる          |                        | 個々のプランに反映し支援している   |
| 70<br>○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。               | 定期的に夜勤者を含め職員が研修に参加できるようにしている               |                        | 消防の協力をもらい、救急救命の講習、フロア単位の研修などを開催している                            |
| 71<br>○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 定期的に避難訓練は行っている。住宅街から離れているが隣の施設から協力が得られる    |                        | 運営推進委員の方、民生委員、町内会の方々など、集まる機会に協力を得られるようにしている                    |
| 72<br>○リスク対応に関する家族との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。 | ゆったりとした環境を心がけ、主治医の指示、家族からの情報をもらいながら取り組んでいる |                        | 具体的に歩行時の足運び、食欲に対することなどは生活の中での対応を話し安全な支援をしていることを伝えている           |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援   |  |                        |  |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)              | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)  |
|--|--|-----------------------|--|
| 73<br>○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。      | 健康状態を把握し違いを見出すようにしている。変化があれば情報を交換している        |                       | 健康チェック、食欲、歩行、話し方にいつもと違いが無いか確認している。あれば連絡をとり口頭、ノートなどで確認するようにしている                         |
| 74<br>○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。  | 薬の説明書が記録簿の中にあり、確認している。個々の薬箱があり、服薬後の表情も観察している |                       | 名前を声を出して確かめて手渡している。副作用については説明書で確認している  |
| 75<br>○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。     | 予防、対応の工夫をしている                                |                       | 食事のバランス、水分、家事や楽しみの中から、体を動かすなどしている。習慣として飲んでいる物を無理なく続けられるようにしたり、主治医に相談する事もある。体操も日課になっている |
| 76<br>○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。              | 毎食後、歯磨きをしており、不十分な方には援助を行い清潔の維持に努めている         |                       | 食後、声をかけて歯磨き、うがいを依頼している   |
| 77<br>○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食欲の無い方の工夫、水分量の確認をしている                        |                       | 口当たりの良いものに換えたり、好みのものを用意している。水分はお茶、ポカリ、コーヒーなど、飽きのこないようにしている                             |
| 78<br>○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)        | 外部から持ち込まれないようにしたり、食事の取り扱い、汚物の処理を取り決めしている     |                       | 玄関に消毒薬を置き、食事は手洗い、加熱、迅速な処理、汚物は使い捨て手袋を使っている  |

| 項目  |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)                  |
|---|--|--|------------------------|--|
| 79  | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。  | 台所、器材は消毒をして食材は賞味期限を確認している  |                        | 夕食の後片付けのあとで器材、台所、布巾などを消毒している                     |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1)居心地のよい環境づくり |  |  |                        |  |
| 80  | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。                              | 中庭がありベンチを置き、周りに花壇や畑がありテーブルもある為、お茶を楽しむことが出来る。玄関はスロープと階段になっている   |                        | 安全の為、道路に危険防止のフェンスを設置し、安心して過ごしていただけるようにしている       |
| 81  | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節の草花や飾り(ひな祭り・五月人形・クリスマス・お正月)をし、季節を感じて頂けるよう配慮し、毎日掃除により快適な環境づくりを心がけています。テレビの音やカーテンで光の調整をし、不快の無いように努めている |                        | テレビの音やお話声が大きく、他の人が不快に感じる事があれば、都度職員が仲介している        |
| 82  | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。                              | ソファーと食卓テーブルの空間があり、個々の思い思いの過ごし方をしている。玄関にあるベンチで外を眺めていられる方もいらっしゃる   |                        | 1F・2Fの移動を自由にされており、他のフロアで過ごされる方もおられる              |
| 83  | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。                   | 慣れ親しんだ物をお持ちいただき、安全に安心な配置にしています   |                        | タンス・ペット・写真・置物など、自身の愛用されているものを使用しています             |
| 84  | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。                           | 掃除や換気や木炭使用にて、臭いや空気のおよみの対策をしています。温度・湿度計の配置により、温度調節も細めに行っています  |                        | 利用者の方々の状態・体調に応じた換気を行っています。(居室に居られない時に換気を行うなどの対策) |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり                    |  |  |                        |  |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                       | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)   |
|--|---|-----------------------|---|
| 85<br>○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | バリアフリーで多くの手摺があり、安全に配慮している。立つ・座るなど、無理なく動ける家具を用意している    |                       | 浴槽に滑り止めや、シャワー椅子、、手摺が多くあり、随所に工夫している  |
| 86<br>○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。           | 食卓テーブルや、居室へ名前を貼り確認して頂いたり、色々な場面で役割を持っていただいて自信回復に努めています |                       | 安心して、自信を持った生活をして頂けるよう、職員と共にお手伝いやレク等を行っていただいている。自信の回復により長年行っていなかった家事も行っている |
| 87<br>○建物の外回りや空間の活用<br>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。                   | 中庭があり、裏には散歩道もある。お茶を楽しんだり、他のフロアの方々との交流の場ともなっている        |                       | ベンチ・テーブルを使用し、喫茶をたのしんだり畑の野菜の収穫も行っている                                       |



| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |
|------------------|--|---|
| 項目               | 取り組みの成果  |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんど掴んでいない<br>① |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない<br>①               |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんどいない<br>①    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている                 | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんどいない<br>②    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんどいない<br>④    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんどいない<br>①    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ①ほぼ全ての利用者<br>②利用者の2/3くらい<br>③利用者の1/3くらい<br>④ほとんどいない<br>②    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ①ほぼ全ての家族<br>②家族の2/3くらい<br>③家族の1/3くらい<br>④ほとんどできていない<br>①    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない<br>③               |

| V. サービスの成果に関する項目 |   |
|------------------|---|
| 項目               | 取り組みの成果   |
| 97               | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている<br/>②少しずつ増えている<br/>③あまり増えていない<br/>④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p> |
| 98               | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が<br/>②職員の2/3くらいが<br/>③職員の1/3くらいが<br/>④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>                                       |
| 99               | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が<br/>②利用者の2/3くらいが<br/>③利用者の1/3くらいが<br/>④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>                     |
| 100              | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が<br/>②家族等の2/3くらいが<br/>③家族等の1/3くらいが<br/>④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>                 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)